

# テープドライブ / テープメディアの互換性

一般社団法人 電子情報技術産業協会  
情報・産業社会システム部会  
技術企画・標準委員会  
テープストレージ専門委員会

2013年6月

# テープドライブ / テープメディアの互換性

テープシステムの目的が、「バックアップ」から「アーカイブ」に広がってきている現状では、過去のテープが新しい世代のドライブでもリード(読み取り)出来るかどうか、大きな関心事となってきました。

例えば、ミッドレンジクラスで、もっとも一般的になっている‘LTO’の場合には、どの世代のドライブでも1世代前のテープは、「リード/ライト可」、2世代前のテープは「リードのみ可」と、仕様が決まっており、比較的分かり易いのですが、規格によっては分かりにくいものもあり、メーカーに問合せされるケースも多々あるようです。

以下は、代表的な規格である「LTO」、「DLT/SDLT系」、「DDS/DAT系」の互換表です。ただし、お持ちの過去のテープが実際にリード出来るかは、記録された時の仕様環境(ハードウェアやソフトウェア等)も関係するので、以下の表はあくまでも参考としてご覧下さい。

なお、本文および表中の製品名およびロゴは、各社の商標または登録商標です。

## LTO ドライブ・テープ

メディア \ ドライブ	LTO Ultrium 1	LTO Ultrium 2	LTO Ultrium 3	LTO Ultrium 4	LTO Ultrium 5	LTO Ultrium 6
Ultrium 1 (100/200GB)				×	×	×
Ultrium 2 (200/400GB)	×				×	×
Ultrium 3 (400/800GB)	×	×				×
Ultrium 4 (800/1600GB)	×	×	×			
Ultrium 5 (1500/3000GB)	×	×	×	×		
Ultrium 6 (2500/6250GB)	×	×	×	×	×	

( )内の数値は、非圧縮時/2:1圧縮想定時の容量。ただしLTO6のみ2.5:1の圧縮比を想定  
 :リード/ライトともに可能、 :リードのみ可能、 × :使用不可

(2013年6月現在)

## DDS/DAT ドライブ・テープ

ドライブ メディア(容量*1)	DDS1	DDS2	DDS3	DDS4	DAT72	DAT160	DAT320
DDS1テープ (2/4GB)				*2	×	×	×
DDS2テープ (4/8GB)	×			*2	×	×	×
DDS3テープ (12/24GB)	×	×				×	×
DDS4テープ (20/40GB)	×	×	×				×
DAT72テープ (36/72GB)	×	×	×	×			×
DAT160テープ (80/160GB)	×	×	×	×	×		
DAT320テープ (160/320GB)	×	×	×	×	×	×	

○: リード/ライトともに可能、○: リードのみ可能、X: 使用不可

\*1(非圧縮時/圧縮時) \*2: ドライブにより異なります

(2013年6月現在)

## DLT系ドライブ・テープ

:リード/ライトともに可能、 :リードのみ可能、X:使用不可

ドライブ メディア	DLT 2000	DLT 2000XT	DLT 4000	DLT 7000	DLT 8000	DLT VS80 /DLT1	DLT VS160	DLT-V4
DLTtape III	10GB	10GB	10GB	10GB	10GB	×	×	×
DLTtape III XT	×	15GB	15GB	15GB	15GB	×	×	×
DLTtape IV	×	×	20GB	35GB	40GB	*1 40GB	×	*2
DLTtape VSI	×	×	×	×	×	×	80GB	*3 160GB

ドライブ メディア	SDLT 220	SDLT 320	SDLT 600	DLT-S4
DLTtape IV			×	×
DLTtape VSI	×	×	*4	×
Super DLTtape I	110GB	160GB		*5
Super DLTtape II	×	×	300GB	
DLTtape S4	×	×	×	800GB

\* 表中の容量は非圧縮時

\*1: DLT4000フォーマットはリードのみ可、DLT7000/8000フォーマットは不可

\*2: DLT VS80/DLT1フォーマットのみ

\*3: DLT VS160フォーマットはリードのみ可

\*4: DLT VS160フォーマットのみ

\*5: SDLT320フォーマットのみ

(2013年6月現在)